

# 公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和元年7月30日

施設名	香北青少年の家	所管課	教育委員会生涯学習課
-----	---------	-----	------------

## 1 施設の概要

指定管理者名	(株)香北ふるさとみらい	指定期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日
施設所在地	香美市香北町吉野1300		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の利用の許可に関すること</li> <li>・施設及び設備の維持管理に関すること</li> <li>・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関すること</li> <li>・主催事業を計画し、実施すること</li> </ul> <p>&lt;平成30年度主催事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日帰りだよ！親子忍者大会体験 子どもフェスティバル忍者大会 ・プチ!!親子避難生活体験 ・日帰りだよ！ちびっ子忍ジャー ・青年リーダー研修 ・日帰りだよ！集まれ!!未来の麵職人 子どもフェスティバル集まれ!!未来の麵職人 ・めざせ!!やなせたかし先生など</li> </ul>		
施設内容	<p>青少年教育施設として、「自然とのふれあい体験、共同生活体験及び体験的な学習活動などを通じて心身ともに健全な青少年の育成を図る」という設置目的に基づき運営している。</p> <p>構造:本館 鉄筋コンクリート2階 延べ1,002.65㎡ 別館 鉄筋コンクリート平屋 延べ295㎡ 研修棟 鉄筋平屋 延べ300.16㎡</p> <p>施設概要: 研修室 3室(定員20名,80名,120名) 宿泊室 定員126名 浴室3室 野外炊飯場 3箇所 定員300名 ランニングコース 1コース 1.7km オリエンテーリングコース 1コース 10km ウォークラリーコース 2コース 5km</p>		
職員体制	職員:所長1名 会計総務部長1名 会計総務部1名 指導主任1名 指導員3名 調理主任1名 調理員4名 警備宿直3名 合計:15名		

## 2 収支の状況

(単位:円)

		H29年度(決算)	H30年度(決算)	R1年度(予算)
収入	県支出金	39,120,000	39,164,000	39,971,000
	事業費収入	743,367	757,639	771,000
	収入計	39,863,367	39,921,639	40,742,000
支出	事業費	1,145,752	1,194,038	1,354,000
	管理運営費	13,022,553	12,647,973	12,108,000
	人件費	22,742,232	23,122,489	23,915,000
	消費税	2,952,830	2,957,139	3,365,000
	支出計	39,863,367	39,921,639	40,742,000
使用料収入		2,087,050	1,978,690	2,203,000

## 3 利用実績

(1)宿泊者数

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平均
宿泊者数	6,736	6,672	7,481	6,589	6,570	6,810

(2)利用団体数

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平均
団体数	166	165	175	162	166	167

(3)利用者数

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平均
人数	14,627	14,931	16,469	15,129	15,478	15,327

#### 4 業務の評価

項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取り組み	<p>広報活動としては、ホームページに施設の案内や料金、活動プログラム、主催事業予定や主催事業参加者募集情報を掲載している。加えて、事業参加者全員にお礼とともに次年度の主催事業案内等を送付し、利用者へのきめ細かい気配りを行っている。</p> <p>楽しく参加したい企画ばかりであるが、一つ一つの事業において参加者に対して約束と目標設定をきちんと位置付け、ふりかえり、活動の際に体験活動がどのようなであったか確認できるよう、プログラムが組まれている。</p> <p>親子で体験する事業が多くあり、親子のコミュニケーションを図り絆を深めるよい機会となっている。人気のある忍者大会を継続し続けていることは、大変意義がある。また、平成29年度から始まった「ちびっこ忍ジャー」も開催日数を2日増やして、自然の中で楽しみながら体を動かすことで運動に親しむきっかけとなっている。</p> <p>地域社会との連携・融合などについて、外部組織の力を借りた各種事業を評価したい。関連組織とのネットワークを生かした取組を今後も期待する。</p> <p>存在を認識してもらうための広報と、利用してみたい企画やサービスを打ち出して利用者を増やしていく広報をそれぞれに取組んでほしい。</p> <p>一度来所・利用された方が「次また来よう！」と思うように、人気企画でもリニューアルを行ったり、次の人気企画を立ち上げるようなチャレンジを望む。</p>

<p>②利用者へのサービス向上のための改善策</p>	<p>例えば、小学校5年生宿泊学習においては、過去のデータを参考にプログラム等内容の充実に努め、「何を目的として」「何を求めているのか」を確認し、先生方と指導員の指導の場面の割り振りや、指導員がどこまで指導をするのか、綿密な打合せを行っている。気がかりな行動がある子どもや特性がある子どもへの支援の仕方を学び、適切な対応に取り組んでいる。</p> <p>部屋の割り振り、入浴時間の調整、食事メニューや時間の変更など、利用者の年齢や性別に応じて希望に添うことができるよう配慮している。</p> <p>食に関しては、地元直販店からの仕入れで生産者の顔が見える安心した野菜を使用している。</p> <p>安全面については、屋外での活動の時に常時トランシーバーを持ち歩き、事務所と連絡が取れるようにしている。</p> <p>職員のスキルアップに向けての各種研修に継続的に力を注いでいることが評価できる。また、ボランティアスタッフに対しても、青年リーダー研修を行って資質・指導力の向上に努めている。</p> <p>施設が古いことによる苦勞も多々あると思われる。炊さん場と風呂場の改修が必要である。</p> <p>施設の歴史的なことを考えても、青少年施設の代表的なモデルとなる立ち位置にあると考えられる。今後も、さらなる進化を期待する。</p>
<p>③施設の運営について</p>	<p>職員間のミーティングを定期的に行うことでコミュニケーション不足を解消し、連携が取れるように努力している。</p> <p>毎年同じ時期に利用する団体からの予約漏れがないように予約台帳にメモをつけ、予約漏れのトラブルを防ぐ努力をしている。</p> <p>アレルギー事故防止のため、利用団体から提出された確認票により、事前に打ち合わせを行い、提供メニューを事前了承の上提供するように徹底している。</p> <p>月に一度、全館一斉清掃・除菌を実施し、偶数月には全フィルター清掃を行っている。また、経年劣化した食堂のテーブル(脚のグラつき等)の取替や和室の畳表替えを行い、利用者が安全に気持ちよく利用できるよう努めている。</p> <p>日々の取組には、地道な努力を積み重ねており、評価できる。その一方で、宿泊者がある場合の夜間の安全、食事の衛生管理など安全面での対策はマンネリ化しないように、常に新鮮な気持ちで管理体制の点検・見直し、訓練を行う必要がある。</p>
<p>④利用実績</p>	<p>平成30年度の利用団体数は166団体、利用者数は15,478人、宿泊者数は6,570人であった。平成29年度と比較すると、利用団体数は4団体増、利用者数は349人増、宿泊者数は19人減となっている。</p> <p>児童数が減少しているが、平成25年度以降、利用者数に大きな右肩下がりは見られない。利用者アンケートの評価は4.7と高く、平成30年度のリピーターは180名(18%)であった。</p>

⑤収支の状況	<p>施設使用料収入は、平成29年度より108,360円減少している。管理代行料は、予算額を全額執行している。</p> <p>平成30年度決算額(県支出金):39,164,000円</p>
総合評価	<p>青少年の宿泊・食事・研修・野外活動等における安全の確保を第一とし、“みんなの笑顔と感動”をキーワードに、地域の施設や地域の方々と連携して主催事業を充実させ、「自然とのふれあい体験、共同生活体験及び体験的な学習活動などを通じて心身ともに健康な青少年の育成を図る」という目的に基づき、多方面から青少年の健全な育成のための取り組みができています。</p> <p>利用者アンケートでは、5段階評価のうち、「1→良くない」「2→あまり良くない」が0件であり、「5→とても良かった」が80%を超える項目がほとんどである。事業内容、スタッフレベルともにすでに完成形の運営ができていているものと思われる。</p> <p>スタッフの責任感がこのような結果に繋がっていると感じるが、一方で、スタッフに負担がかかりすぎていないか心配でもある。1名増員予定とのことなので、今後の人材育成に期待したい。</p> <p>事業を継続・拡大していくためにも、職員の資質指導力の向上のみならず、青年リーダー研修を充実させ、ボランティアスタッフの育成が重要である。</p> <p><b>A</b></p> <p>主催事業については、人気の「忍者大会」に続いて、「親子忍者大会」や「ちびっ子忍ジャー」を開催し、子どもたちに自然豊かな環境の中で楽しみながら体験活動を提供している。</p> <p>一方で、「親子避難生活体験」は、募集人数よりはるかに少ない参加者であった。南海トラフ地震も視野に入れた体験学習に人数がなぜ集まらなかったか要因を分析して、より多くの参加者の確保に努めてほしい。</p> <p>平成30年度は、天候や利用団体の都合によるキャンセル等で宿泊者や利用者の減少が報告されたが、常に開拓心を強く持ち、主催事業や職員の質の向上に尽力する姿は評価に値する。</p>

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
  - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
  - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
  - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

※「施設からの状況説明に対する評価・意見」欄には、各施設の品質向上及び利用者拡大に向けて、①から⑤までの項目に沿って、努力成果が見える点や改善が必要だと感じる点、その他特記事項をご記入ください。

また、他の参考になるような業務改善の取組については、総合評価欄にご記入ください。